



2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月13日

上場会社名 株式会社フォーサイド 上場取引所 東
 コード番号 2330 URL <https://www.forside.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 根津 孝規
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 飯田 潔 TEL 03 (6262) 1056
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績 (2021年1月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|----------------|-------|------|------|---|------|---|----------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年12月期第2四半期 | 2,452 | 29.8 | 141 | — | 142 | — | 164 | — |
| 2020年12月期第2四半期 | 1,889 | △1.8 | △97 | — | △51 | — | △346 | — |

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 160百万円 (—%) 2020年12月期第2四半期 △320百万円 (—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|----------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年12月期第2四半期 | 5.07 | — |
| 2020年12月期第2四半期 | △10.66 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2021年12月期第2四半期 | 4,321 | 1,239 | 28.7 | 38.08 |
| 2020年12月期 | 3,841 | 1,095 | 28.1 | 33.16 |

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 1,238百万円 2020年12月期 1,079百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|----------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年12月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2021年12月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2021年12月期 (予想) | — | — | — | — | — |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 2021年12月期の期末配当は今後の業績見通し等を踏まえて判断することにしていないため未定であります。

3. 2021年12月期の連結業績予想 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|-----|------|---|------|---|---------------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 4,206 | 4.2 | 110 | — | 109 | — | 124 | — | 3.81 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2021年12月期2Q | 32,557,704株 | 2020年12月期 | 32,557,704株 |
| ② 期末自己株式数 | 2021年12月期2Q | 17,314株 | 2020年12月期 | 16,394株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2021年12月期2Q | 32,540,711株 | 2020年12月期2Q | 32,542,315株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び本資料の発表日現在において合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。実際の業績等は今後の様々な要因によって予想と大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 4 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (追加情報) | 10 |
| (セグメント情報等) | 11 |
| (重要な後発事象) | 13 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、2021年4月に3回目の緊急事態宣言が発出される等、引き続き社会経済活動が制限される厳しい状況が続いております。また、複数の変異株が確認される等、新型コロナウイルスの感染者数は再び増加傾向にあり、収束時期の見通しを立てることは難しく、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの事業領域であるプライズ事業を含むアミューズメント市場におきましては、首都圏を中心にアミューズメント施設の休業や営業時間の短縮を継続的に実施しているほか、コロナ禍での消費者の生活・行動様式の変化を受け、以前のような活況を取り戻すには時間がかかることが予想されています。一方でオンラインを活用したクレーンゲーム事業を強化する等、「Withコロナ」に伴う事業環境の変化への動きが積極的に見られております。住宅市場におきましては、2021年6月の新設住宅着工戸数が前年同月比7.3%の増加となり、前年同月比で4ヶ月連続の増加となりました。また、貸家着工戸数においても、前年同月比で4ヶ月連続の増加となりましたが、コロナ禍前の水準には届いておらず、今後の動向を注視していく必要があります。

このような経済状況の中、当社グループにおいては、主力事業であるプライズ事業・不動産関連事業・投資銀行事業の収益力を強化し経営基盤を確立するとともに、さらなる収益基盤を構築するため、当第2四半期連結会計期間において、株式会社角川春樹事務所との間でティーン向けファッション誌「Popteen」の事業譲渡契約の締結（事業譲受日は2021年8月1日）、及び同社との間で資本業務提携を行う等、出版事業の業容拡大に向けた取り組みを進めてまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は2,452,536千円（前年同期比29.8%増）、営業利益は141,541千円（前年同期は営業損失97,430千円）、経常利益は142,839千円（前年同期は経常損失51,403千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は164,913千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失346,988千円）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

①プライズ事業

プライズ事業につきましては、株式会社ブレイクがクレーンゲーム機等のプライズゲーム用景品の企画・製作・販売を行っております。

当第2四半期連結累計期間においては、引き続き人気キャラクター商品を多く取り扱うことができました。また、ゴールデンウィークに向けた需要の高まりに対し、多くの商品を事前準備できたことが功を奏し、売上高、セグメント利益ともに、前年の水準を大幅に上回って推移いたしました。

以上の結果、売上高は1,469,753千円（前年同期比71.4%増）、セグメント利益は130,397千円（前年同期比170.6%増）となりました。

②不動産関連事業

不動産関連事業につきましては、日本賃貸住宅保証機構株式会社が家賃保証業務及び物件管理業務を行っております。

当第2四半期連結累計期間においては、民法改正による家賃保証の需要増加が継続しており、新規契約者数は堅調に推移いたしました。また、与信審査及び債権管理業務の強化と業務の効率化にも取り組み、管理回収部門においては、引き続き公的支援制度の案内を行う等、状況に応じた顧客管理に努めたことが業績に寄与し、貸倒引当金繰入額は大幅に減少しております。

以上の結果、売上高は697,834千円（前年同期比5.9%増）、セグメント利益は79,236千円（前年同期比673.4%増）となりました。

③投資銀行事業

投資銀行事業においては、フォーサイドフィナンシャルサービス株式会社がM&Aのアドバイザー業務を行っております。

当第2四半期連結累計期間においては、案件の成約件数は伸び悩みましたが、1件あたりの成約金額が増加する等、収益性の向上に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は53,454千円（前年同期比586.5%増）、セグメント利益は20,089千円（前年同期はセグメント損失53,629千円）となりました。

④コンテンツ事業

コンテンツ事業につきましては、株式会社モビぶっくが電子書籍配信サイト「モビぶっく」の運営を行っております。なお、フォーサイドメディア株式会社が映像制作事業を行っていましたが、2021年1月31日付けで事業譲渡が完了し、本事業から撤退しております。

当第2四半期連結累計期間においては、電子書籍配信サイト「モビぶっく」において、厳格な採算管理の下で広告宣伝投資を行い、費用対効果の高いプロモーション施策を継続して実施してまいりました。

以上の結果、売上高は104,835千円（前年同期比51.8%減）、セグメント利益は3,092千円（前年同期はセグメント損失7,704千円）となりました。

なお、映像制作事業を除外して経営成績の前年同期比較を行いますと、売上高は75,733千円（前年同期比8.7%減）、セグメント利益は8,397千円（前年同期比1.8%減）となりました。

⑤イベント事業

イベント事業につきましては、株式会社ブレイクが各地の大型商業施設の催事場にて著名なコンテンツの展示販売を中心に行っております。

当第2四半期連結累計期間においては、緩やかな回復の兆しが見られた半面、政府による2回目、3回目となる緊急事態宣言が発出されたことをうけ、イベントの延期や人数を制限した状態での開催が余儀なくされる等、依然として厳しい状況が続いております。

以上の結果、売上高は58,053千円（前年同期比2.5%減）、セグメント損失は13,045千円（前年同期はセグメント損失8,096千円）となりました。

⑥マスターライセンス事業

マスターライセンス事業につきましては、株式会社マーベラスアークが音楽関連事業を行い、フォーサイドメディア株式会社が出版事業を行っております。

当第2四半期連結累計期間においては、オンラインでの事業展開と並行して、ライブハウス等でのライブ出演を再開することができていますが、政府や地方自治体の政策に左右される側面もあり、引き続き状況を注視していく必要があります。出版事業においては、女子小中学生向け雑誌 Cuugal（キューガル）において、Youtubeを使用した読者参加型の表紙争奪戦の展開やCuugalモデルがプロデュースするアパレルブランドが展開される等、誌面と連動した企画の充実を図り、媒体の認知向上に取り組んでおります。

以上の結果、売上高は65,134千円（前年同期比25.3%減）、セグメント損失は16,449千円（前年同期はセグメント損失469千円）となりました。

⑦その他の事業

その他の事業においては、主にフォーサイドフィナンシャルサービス株式会社が金融事業を行っております。

当第2四半期連結累計期間においては、引き続き貸付金の回収に努めたほか、株式会社フォーサイドで受託したコンサルティング案件が業績に寄与し、売上高、セグメント利益ともに、前年の水準を上回って推移いたしました。

以上の結果、売上高は3,470千円（前年同期比158.2%増）、セグメント利益は1,878千円（前年同期比57.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べて479,886千円増加し4,321,222千円となりました。主な要因と致しましては、受取手形及び売掛金の増加97,545千円、商品の増加103,255千円及び投資有価証券の増加125,650千円等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末に比べて335,983千円増加し3,082,146千円となりました。主な要因と致しましては、支払手形及び買掛金の増加106,674千円の増加、短期借入金の増加185,003千円等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末に比べて143,903千円増加し1,239,076千円となりました。主な要因と致しましては、親会社株主に帰属する四半期純利益164,913千円等を計上したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて72,507千円増加し、1,119,367千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況及びこれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、77,661千円の収入（前年同期は118,093千円の支出）となりました。主な要因と致しましては、たな卸資産が103,070千円増加したものの、税金等調整前四半期純利益174,011千円を計上したことや仕入債務が106,590千円増加したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、168,151千円の支出（前年同期は193,600千円の収入）となりました。主な要因と致しましては、投資有価証券の取得による支出170,000千円を計上したこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、159,822千円の収入（前年同期は90,902千円の収入）となりました。主な要因と致しましては、短期借入金の純増加額185,000千円を計上したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の連結業績予想につきましては、「2020年12月期決算短信」における通期の業績予測から変更してありませんが、当第2四半期連結累計期間の業績は、利益面において通期の連結業績予想を上回る水準で推移しております。今後、新たに取得した「Popteen」事業を含む業績動向や他要因も含めて通期業績予想を精査し、修正の必要が生じた場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2020年12月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日) |
|-------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,046,859 | 1,119,367 |
| 受取手形及び売掛金 | 522,517 | 620,063 |
| 商品 | 186,967 | 290,222 |
| 短期貸付金 | 41,071 | 42,482 |
| 収納代行未収金 | 1,088,805 | 1,139,593 |
| 代位弁済立替金 | 425,120 | 402,008 |
| その他 | 112,700 | 173,314 |
| 貸倒引当金 | △347,299 | △341,068 |
| 流動資産合計 | 3,076,744 | 3,445,983 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 123,610 | 124,041 |
| 土地 | 153,155 | 153,155 |
| その他(純額) | 10,977 | 9,784 |
| 有形固定資産合計 | 287,743 | 286,982 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 40,683 | 33,046 |
| のれん | 2,592 | 2,222 |
| その他 | 18 | 18 |
| 無形固定資産合計 | 43,294 | 35,286 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 20,759 | 146,409 |
| 長期貸付金 | 385,047 | 384,560 |
| 敷金 | 48,041 | 41,500 |
| 長期未収入金 | 30,500 | 30,500 |
| その他 | 14,816 | 14,029 |
| 貸倒引当金 | △65,609 | △64,030 |
| 投資その他の資産合計 | 433,555 | 552,969 |
| 固定資産合計 | 764,592 | 875,238 |
| 資産合計 | 3,841,336 | 4,321,222 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2020年12月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 195,325 | 302,000 |
| 未払金 | 1,090,951 | 1,142,323 |
| 未払法人税等 | 34,516 | 9,201 |
| 前受収益 | 431,711 | 471,565 |
| 短期借入金 | 15,000 | 200,003 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 50,916 | 65,717 |
| 債務保証損失引当金 | 99,440 | 102,110 |
| 賞与引当金 | — | 18,000 |
| その他 | 252,837 | 236,085 |
| 流動負債合計 | 2,170,698 | 2,547,007 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 566,401 | 527,060 |
| 利息返還損失引当金 | 7,248 | 7,578 |
| その他 | 1,815 | 500 |
| 固定負債合計 | 575,465 | 535,139 |
| 負債合計 | 2,746,163 | 3,082,146 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,432,534 | 100,000 |
| 資本剰余金 | 1,973,705 | 86,206 |
| 利益剰余金 | △2,326,242 | 1,058,694 |
| 自己株式 | △3,529 | △3,626 |
| 株主資本合計 | 1,076,467 | 1,241,274 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,054 | △3,230 |
| 為替換算調整勘定 | 1,550 | 931 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,605 | △2,298 |
| 新株予約権 | 16,100 | 100 |
| 純資産合計 | 1,095,173 | 1,239,076 |
| 負債純資産合計 | 3,841,336 | 4,321,222 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 営業収益 | | |
| 売上高 | 1,229,332 | 1,754,316 |
| その他の営業収益 | 660,521 | 698,220 |
| 営業収益合計 | 1,889,854 | 2,452,536 |
| 営業原価 | | |
| 売上原価 | 878,742 | 1,297,778 |
| その他の原価 | 179,977 | 187,114 |
| 営業原価合計 | 1,058,719 | 1,484,893 |
| 売上総利益 | 831,134 | 967,643 |
| 販売費及び一般管理費 | 928,564 | 826,102 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △97,430 | 141,541 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 4,315 | 3,984 |
| 保険解約返戻金 | 36,501 | — |
| 受取保険金 | — | 3,156 |
| 貸倒引当金戻入額 | 255 | — |
| 為替差益 | 185 | 1,477 |
| その他 | 7,316 | 1,910 |
| 営業外収益合計 | 48,573 | 10,529 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 910 | 2,804 |
| 支払手数料 | 683 | 15 |
| 貸倒引当金繰入額 | — | 5,939 |
| その他 | 953 | 470 |
| 営業外費用合計 | 2,546 | 9,230 |
| 経常利益又は経常損失(△) | △51,403 | 142,839 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 3,380 | — |
| 事業譲渡益 | — | 15,538 |
| 新株予約権戻入益 | 7,655 | 16,000 |
| 特別利益合計 | 11,035 | 31,538 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 208,961 | — |
| 貸倒引当金繰入額 | 40,000 | — |
| 投資有価証券評価損 | 26,880 | — |
| 投資有価証券売却損 | 22,914 | — |
| 固定資産売却損 | 3,873 | — |
| 固定資産除却損 | — | 367 |
| 特別損失合計 | 302,630 | 367 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △342,998 | 174,011 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 3,989 | 9,098 |
| 法人税等合計 | 3,989 | 9,098 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △346,988 | 164,913 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △346,988 | 164,913 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日) |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △346,988 | 164,913 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 26,255 | △4,284 |
| 為替換算調整勘定 | △177 | △619 |
| その他の包括利益合計 | 26,078 | △4,904 |
| 四半期包括利益 | △320,910 | 160,009 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △320,910 | 160,009 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日) |
|-------------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △342,998 | 174,011 |
| 減価償却費 | 22,156 | 16,797 |
| 減損損失 | 208,961 | — |
| のれん償却額 | 18,969 | 370 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 211,468 | △7,808 |
| 受取利息及び受取配当金 | △4,315 | △3,998 |
| 支払利息 | 910 | 2,804 |
| 為替差損益(△は益) | △185 | △1,477 |
| 保険解約返戻金 | △36,501 | — |
| 新株予約権戻入益 | △7,655 | △16,000 |
| 事業譲渡損益(△は益) | — | △15,538 |
| 投資有価証券売却及び評価損益(△は益) | 46,415 | — |
| 固定資産売却損益(△は益) | 3,873 | — |
| 固定資産除却損 | — | 367 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 101,952 | △97,401 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △165,412 | △103,070 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 14,521 | 106,590 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 8,500 | 18,000 |
| 債務保証損失引当金の増減額(△は減少) | 630 | 2,670 |
| 利息返還損失引当金の増減額(△は減少) | 228 | 330 |
| 立替金の増減額(△は増加) | △176,146 | 21,429 |
| 前受金の増減額(△は減少) | 27,652 | 30,940 |
| 前渡金の増減額(△は増加) | 2,664 | 5,396 |
| 未収入金の増減額(△は増加) | △68,212 | △45,286 |
| 長期未収入金の増減額(△は増加) | △30,500 | — |
| 未払金の増減額(△は減少) | 80,312 | 51,232 |
| 未払費用の増減額(△は減少) | △5,084 | △5,107 |
| 未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少) | △164 | △29,850 |
| その他 | △33,140 | △25,243 |
| 小計 | △121,101 | 80,157 |
| 利息及び配当金の受取額 | 672 | 2,901 |
| 利息の支払額 | △1,399 | △3,155 |
| 法人税等の支払額又は還付額(△は支払) | 3,734 | △2,242 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △118,093 | 77,661 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △7,678 | △6,825 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 34,782 | — |
| 無形固定資産の取得による支出 | △850 | △650 |
| 事業譲渡による収入 | — | 15,909 |
| 事業譲受による支出 | △50,602 | — |
| 子会社株式の取得による支出 | — | △10,000 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △2,250 | △170,000 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 166,323 | — |
| 保険積立金の払戻による収入 | 76,888 | — |
| 敷金の差入による支出 | — | △100 |
| 敷金の回収による収入 | 1,800 | 4,438 |
| 貸付けによる支出 | △61,560 | △8,000 |
| 貸付金の回収による収入 | 36,747 | 7,076 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 193,600 | △168,151 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 自己株式の取得による支出 | △34 | △115 |
| 自己株式の処分による収入 | 14 | 9 |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △85,000 | 185,000 |
| 長期借入れによる収入 | 200,000 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | △24,077 | △25,071 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 90,902 | 159,822 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △375 | 3,274 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 166,033 | 72,607 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 466,799 | 1,046,859 |
| 連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額 | — | △100 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 632,833 | 1,119,367 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年3月25日開催の定時株主総会において、欠損の填補を目的とする無償減資について決議し、当該決議について、2021年5月14日に効力が発生しております。これにより資本金1,332,534千円、資本準備金1,328,740千円をその他資本剰余金に振り替えた上で、その他資本剰余金3,220,023千円を繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補に充当しております。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が100,000千円、資本剰余金が86,206千円、利益剰余金が1,058,694千円となっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の決算短信の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自2020年1月1日至2020年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

| | 報告セグメント | | | | | | その他 (注) 1 |
|--------------------------|---------|---------|---------|---------|--------|-------------|--------------|
| | プライズ | 不動産関連 | 投資銀行 | コンテンツ | イベント | マスター ライツ | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 857,383 | 659,086 | 7,787 | 217,534 | 59,529 | 87,188 | 1,343 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 857,383 | 659,086 | 7,787 | 217,534 | 59,529 | 87,188 | 1,343 |
| セグメント利益又は セグメント損失 (△) | 48,188 | 10,245 | △53,629 | △7,704 | △8,096 | △469 | 1,193 |

(単位：千円)

| | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|--------------------------|-----------|--------------|--------------------------------|
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,889,854 | — | 1,889,854 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — |
| 計 | 1,889,854 | — | 1,889,854 |
| セグメント利益又は セグメント損失 (△) | △10,272 | △87,157 | △97,430 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融事業その他を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失 (△) の調整額△87,157千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項ありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

| | 報告セグメント | | | | | | その他 (注) 1 |
|-------------------------|-----------|---------|--------|---------|---------|---------------|--------------|
| | プライズ | 不動産関連 | 投資銀行 | コンテンツ | イベント | マスター ライセンス | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,469,753 | 697,834 | 53,454 | 104,835 | 58,053 | 65,134 | 3,470 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | 300 | — | — | — |
| 計 | 1,469,753 | 697,834 | 53,454 | 105,135 | 58,053 | 65,134 | 3,470 |
| セグメント利益又は セグメント損失(△) | 130,397 | 79,236 | 20,089 | 3,092 | △13,045 | △16,449 | 1,878 |

(単位:千円)

| | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-------------------------|-----------|--------------|--------------------------------|
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,452,536 | — | 2,452,536 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 300 | △300 | — |
| 計 | 2,452,836 | △300 | 2,452,536 |
| セグメント利益又は セグメント損失(△) | 205,200 | △63,659 | 141,541 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融事業その他を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△63,659千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項ありません。

(重要な後発事象)

(重要な事業の譲受)

当社は2021年6月25日開催の取締役会において、当社連結子会社である株式会社モビぶっく（本社：東京都中央区、代表取締役：飯田潔）において、株式会社角川春樹事務所（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：角川春樹、以下「角川春樹事務所」という）の「Popteen」事業を譲り受けることを決議し、同日付で同社と締結した事業譲渡契約に基づき、2021年8月1日に事業を譲り受けました。

1. 企業結合の概要

(1) 相手先企業の名称及び事業の内容

相手先企業の名称 株式会社角川春樹事務所

取得する事業の内容 ティーン向けファッション誌「Popteen」事業及びその他付随する事業

(2) 事業の譲受の理由

当社グループは、既存事業の推進はもとより、M&Aの実施や業務提携の推進、適宜適切な投融資活動を行うことで、持続的な成長を目指しております。2019年7月より開始した出版事業においても、小中学生向けファッション雑誌「Cuugal」（キューガル）を発刊する等、業容の拡大、事業リスクの分散を進め、経営成績と企業価値を共に向上させる為、新たな市場に対しても挑戦し続けることに努めております。

角川春樹事務所の「Popteen」事業については、「Cuugal」と同じく女性をメイン購買層としたファッション雑誌であり、「Cuugal」の読者層が小中学生であるのに対し、「Popteen」は中高校生を中心としたティーン向けであることから、相互の親和性が非常に高いと考えております。また、YouTube やTikTok等のデジタル配信を強化する等、時代のニーズに即した事業の最適化及び最大化を推し進めております。

今般、当社グループで「Popteen」事業を譲り受けることで、既存事業の「Cuugal」と連動性をもって誌面運営することが可能となり、デジタル配信においても大きな相乗効果が期待できるとともに、今後の当社出版事業のさらなる拡大に資するものと考え、事業譲受を決定いたしました。

(3) 企業結合日

2021年8月1日

(4) 企業結合の法的形式

事業の譲受

2. 譲受事業の取得原価及び対価の種類

当事者間の合意により非開示とさせていただきます。

3. 主要な取得関連費用の内容及び金額

現時点では確定しておりません。

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

5. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

譲受事業に関連する一部の什器や器具備品等の引受は発生いたしますが、貸借対照表上に計上されている資産及び負債の引受はありません。

(取得による企業結合)

当社は、2021年6月25日開催の取締役会において、株式会社ホールワールドメディアの株式を取得し、子会社化することを決議し、同日付で締結した株式譲渡契約に基づき、2021年7月1日付で株式を取得いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：株式会社ホールワールドメディア

事業の内容：各種イベントの企画・制作・管理及び運営事業及びモデル・タレント等のマネジメント業務等

(2) 企業結合を行った主な理由

株式会社ホールワールドメディアは、角川春樹事務所の子会社として、主に「Popteen」に出演する専属モデル等のマネジメント業務や登録者数50万人を超えるYouTubeチャンネル「PopteenTV」の企画・運営、Popteen公式ファンクラブ「LOVEteen」の運営等を行っております。

今般、当社グループは、角川春樹事務所より「Popteen」事業を譲り受けることとなりました。そのため、「Popteen」事業に関連する業務を業とする株式会社ホールワールドメディアの株式を取得し同社を子会社化することは、「Popteen」事業のさらなる発展につながるものと考え、株式を取得することを決定いたしました。

(3) 企業結合日

2021年7月1日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

51%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

当事者間の合意により非開示とさせていただきます。

3. 主要な取得関連費用の内容及び金額

現時点では確定しておりません。

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

5. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。